

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年2月4日（月）

NO. 932号

本号3頁

大阪憲法会議 団体地域代表者会議を開催！

参院選まで府民過半数 400万人をめざす決意固め合う

30日、大阪憲法会議・共同センターは大阪市内で第65回団体地域代表者会議を開催しました。14団体、17地域42人が参加しました。

丹羽徹幹事長（龍谷大学法学部法律学科教授）が開会あいさつし、「300万人署名を力にしながら安倍政権退陣、9条改憲阻止、維新政治と決別するためにがんばろう」と呼びかけました。

太田いつみ副幹事長（日本共産党府副委員長）が、「新しい軍国主義とファシズムへの歴史逆行を許さない—安倍9条改憲を安倍政権もろとも葬り去る年に」と題して講演し、山田憲司事務局長が報告と提案を行いました。

山田氏は、府内の300万人署名の到達数は169万3392人（30日現在）と報告。300万人署名を軸に府民過半数（400万人）目標達成（5月24日まで300万人、参院選まで400万人）へ、全有権者規模での市民対話を草の根で広げ、憲法学習大運動を進め、改憲反対の幅広い共同の運動を提起しました。

旭区憲法センター、母親大会連絡会、府高教などから経験と決意が語られました。

二階氏と安倍首相「自作自演」で自衛隊明記へ改憲呼びかけ

衆参での代表質問などで、改憲についても論戦が展開されています。そのなかで30日、自民党の二階俊博幹事長への答弁で、安倍首相は衆院本会議で「すべての自衛隊員が強い誇りを持って任務をまっとうできる環境を整えることは今を生きる政治家の責任だ」などと、これまで述べて来たことを繰り返して述べ、憲法99条の「憲法尊重擁護義務」や、三権分立の原則に違反する形で憲法9条への自衛隊明記の改憲を国会議員に呼びかけました。

二階氏に憲法改定の考え方を問われた安倍首相は「内閣総理大臣としてお答えすることは本来差し控えるべきだが『わたしの気持ちを述べよ』とのことなので丁寧に答えさせていただく」と改憲発言を正当化。28日の施政方針演説でほとんどふれなかった首相の9条改憲案について、自民党の代表質問に答える“自作自演”の形で、約22分の答弁のうち4分半を費やしました。



安倍首相は「自衛隊に関するいわれなき批判や、反対運動、自治体による非協力的な対応がある」などと発言し、「一部の自治体が自衛隊員の募集実施を拒否し、受験票の受理さえおこなっていない」と強調しました。反対運動を展開する団体の要請で採用説明会の開催が取りやめになった事例をあげ「現状は誠に残念。このような状況に終止符を打つためにも自衛隊の存在を憲法上に明確に位置付けることが必要ではないか」と呼びかけました。

自民党、憲法改正に向け、党憲法改正推進本部を再始動！

自民党は、2月10日の党大会の「平成31年党運動方針案」で、「時代の転換点に立つ今、改めて国民世論を呼び覚まし、新しい時代に即した憲法の改正に向けて道筋をつける覚悟である」と述べています。さっそく、自民党のインターネット番組「カフェスタ」で党改憲案の解説を開始し、2018年10月29日に289の衆議院小選挙区支部に結成を指示した「憲法改正推進本部」設置を、未設置支部に改めて促しています（1月23日）。

そして、30日には、自民党憲法改正推進本部が今年初めての全体会合を党本部で開き、再始動しました。下村博文本部長は席上、4月の統一地方選や夏の参院選に触れ、「(候補者に) 憲法の議論は大変重要だと多くの国民に訴えてもらえるよう対応したい」と述べ、選挙を通じ改憲の機運醸成を狙う意向を示しました。

この日は選挙プランナーの三浦博史氏を講師に招き、「憲法改正・国民投票の推進」について意見を聴取。三浦氏は「公開討論会などに積極的に出て発信することが大切だ」と指摘しました。当面は、テーマを変えてヒアリングを続ける方針です。



各地のとらえかた

長野 安曇野市で「憲法を守る市民と政党のつどい」開催

長野県安曇野市で26日、「憲法を守る市民と政党のつどい」が開催され、100人が参加しました。安倍改憲を阻止するにはどうすべきか、市民の声を正當に届けようと実行委員会が主催しました。

政党から日本共産党の石坂千穂さん（県副委員長）、国民民主党の下条みつさん（衆院議員）、社会民主党の中川博司さん（県連幹事長）、緑の党の佐久祐司さん（前富士見町議）が参加。立憲民主党は文書参加でした。

第一部は、①改憲、②新安保関連法、特定秘密保護法、共謀罪法、③沖縄米軍基地問題、④原子力政策、⑤格差貧困問題の5点の政策で、各政党が発言。第二部では参加者から政党への質問・要望・意見交換が行われました。

参議院選挙について「統一候補が決まらずに心配している。共産党の果たす役割が大きいのでは」という質問に、石坂さんは「共産党・ながせ由希子さんが統一候補として最適だと考えているが、本気の共闘で統一候補を実現するために知恵と努力を重ねたい。中央レベルの協議が進むよう、市民の皆さんも働きかけを強めてほしい」と応えました。



兵庫 3000万署名運動の交流会議を開催し、目標達成の決意固め合う

憲法改悪ストップ兵庫県共同センターと平和・民主・革新の日本をめざす兵庫の会は29日、「3000万署名運動で安倍政権にとどめをさす交流会議」を神戸市で開催しました。

和田進神戸大学名誉教授が講演し、安倍政権の強権政治や新たな「防衛計画の大綱」など軍事態勢構築を批判化するとともに市民と野党の共闘の広がりなど参院選での野党共闘勝利の展望を示しました。

憲法共同センターの津川和久代表が行動提起し、2月13日の「5・3兵庫憲法集会」プレ集会、4月24日の全県いっせい宣伝行動の成功と地域、職場の要求と結び付け3000万人署名の目標達成を訴えました。

活動交流では、学習に力を入れ支部単位で学習会を開き、署名の目標にこだわって達成した経験や、街頭の消費税反対や年金署名に応じた人に3000万人署名を呼びかけ、広げている経験を交流し、目標達成の決意を固め合いました。

兵庫県革新懇の宮田静則事務局長は、3000万人署名の達成とともに、県内の野党各党に参院選1人区での野党共闘を要請したことを紹介し、野党共闘実現の世論を大きく広げるよう呼びかけました。

歴史に学び憲法が生きる 日本と世界を切り拓く

「建国記念の日」^{反対}

2019年2・11集会

参加費 500円
(高校生以下無料)

とき 2019年2月11日(月) 午後1時半開会

ところ 日本橋公会堂ホール4階

中央区日本橋區本町1-31-1(駐車場はございません)

東京メトロ 半蔵門線 水天宮前駅 6番出口から徒歩2分
日比谷線 人形町駅 A2出口から徒歩6分
有楽町線 茅場町駅 4番出口から徒歩10分
都営地下鉄 浅草線 人形町駅 A5出口から徒歩7分

天皇制が遺したもののから代替わりを考える

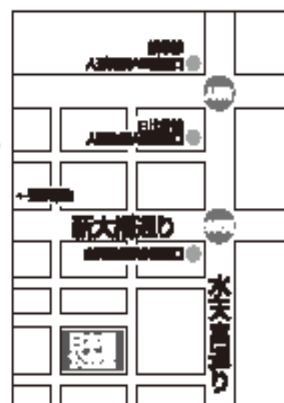
渡辺賢二(明治大学平和教育センター研究所資料館 展示専門委員)

自民党・安倍改憲の非現実性—破綻した「壊憲」の狙いとスケジュール 永山茂樹(京大大学教授・憲法学)



朝鮮半島情勢の転換と日本の責任
辺野古新基地をめぐる情勢と課題
教育への統制・介入とたたかう

- *憲法改悪反対 立憲主義を取り戻そう
- *戦争法・共謀罪法・秘密保護法廃止
自衛隊を海外の戦場に送るな
- *辺野古・高江の新基地反対 沖縄の民意を尊重せよ
- *教育・教科書への国家統制・政治介入を許さず
子どもを大切にす教育を
- *貧困と格差をなくし、くらしと命を守ろう
震災・自然災害・原発被災者の生活再建を
- *「紀元節」復活反対
主権在民と思想・信教の自由を守ろう



「建国記念の日」に反対し思想・信教の自由を守る連絡会

(2・11連絡会)

事務局団体 歴史学研究会(3261-4896)/歴史科学協議会・東京歴史科学研究会(3648-3748)
憲法会議(3261-8007)/有教組(3230-3891)/歴史教育者協議会(3947-5701) 豊島区荒犬2-13-9